

しりーず

映画とひまわり

■その3 冬ロケ編■

広報なよろ5月号から続く

冬の撮影が開始

夏の撮影も終わり、あっという間に秋が過ぎ去り、12月18日から冬の撮影が始まりました。

まずはハッピー（西田敏行さんの愛犬）の商店街の撮影からです。ハッピーの傍らを通り抜けるトラックという演出。まずは、「2台トラックを用意してほしい」と監督からの依頼。さっそく用意すると「違うトラックに替えて!」と再注文。「ああ、また撮影が始まったんだな。」しみじみと感じました。

役者魂とはまさしく…

その後、西田敏行さん、玉山鉄二さんらが名寄入りし、本格的な撮影開始。12月19日は望湖台で、お父さん（西田さん）最後の撮影。朝6時に私達がスタッフを迎えに行き、撮影準備後、撮影スタート。昼食後に撮影継続、夕食後にも撮影継続…

夜9時、まだ撮影が終わりません。気温は-10℃程でしたが風が強く、望湖台の奥の真っ暗やみの中、撮影機材の明かりだけが辺りを照らしています。お父さんの顔をハッピーがなめるシーンがうまくいきません。地元の私達も寒くてガタガタ震えだしました。しかし、驚いたことに西田さんは全く動きません。厚着はしているものの、身動きせず、ハッピーの演技をジーンと待ちます。そして、周りのスタッフも寒いからと妥協することなく、撮影に臨みます。夏の撮影と同様、プロ根性を見せ付けられました。結局、撮影終了は日付変更の直前。

翌20日は玉山さんとサンピラーパークでの撮影です。今回は、撮影が流動的ということもあり、炊き出しは19日と20日のみとなりました。今回の炊き出しも、地物のいも、かぼちゃの料理はもちろん、きのこの汁物、角煮、漬物…その他食べきれない量が用意され、竹山プロデューサーも大絶賛。

映画のエンドロールに名寄の文字が!

かくして、全ての撮影が終了し、2月に関係者による完成試写会。目にいっぱい涙を浮かべ、映画を観ることに…。そして、何より嬉しかったのが、竹山プロデューサーのご配慮により、映画のエンドロールにお手伝いいただいた企業、炊き出し隊の皆さんの名前のほか“協力：名寄市の皆さん”と載っていたことでした。

さあ、いよいよ公開です。

〈経済部営業戦略室〉

